

## 三次市立三次小学校 授業実践

○学年・教科 第2学年 算数科

○単元名 「九九かるたを作ろう！～九九をも超えて～」

○本時の目標 ・乗法のきまりや性質を用いて、乗法九九にない乗法の答えを正しく求めることができる。

○事前の研修から

<予想される児童のつまずき>

- ・九九表の見方が分からないのではないか。
- ・乗法のきまりを、算数用語では理解しにくいのではないか。
- ・自力解決は難しいのではないか。

<イメージ化の手立て>

- ・九九表に触れる機会を多く設定し、考えをしっかりと書き込みをしたり、図を描いて考える習慣をつけたりする。
- ・児童の手元に黒板と同じものを用意する。

<伝え合いの手立て>

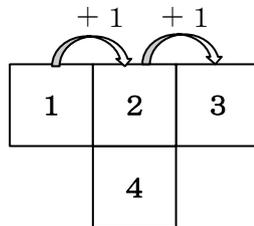
- ・既習事項を掲示しておく。
- ・どのきまりを使って考えたか、明確にさせた上で説明させる。

○授業について

- ・これまで学習してきた乗法九九のきまりを使って、九九表の空いている部分に数字を入れます。



九九表の写し出し。1から9までの数字が並んでいる。



このピースが入るのはどこかな？  
なぜ、そこに入るのだろうか？

㊦ 「1ずつ増えているから1のんだと思います。」

- ・九九のきまりをきちんと言葉で説明できました。

・九九表から飛び出す数があるみたいだね。九九より大きいかけ算はどうやって考えたらいいかな？

㊦  $5 \times 10$

㊧  $3 \times 12$

・かけ算のどのきまりを使って考えたのか、各々で考えた後、ペアやグループで交流しました。

㊦ 「5ずつ増えるから㊦は50じゃない？」

㊦ 「 $3 \times 12$ は、 $12 \times 3$ にしても同じ答えになるね。」

㊦ 「 $3 \times 9$ から3ずつ足していけばいいんだよ。」

・お互いの考えを伝え合う姿が見られました。



- ・全員で考えを交流し、振り返りをしました。

- ① 「〇〇さんが教えてくれたことをやってみたら、できました。」
- ② 「 $5 \times 9$ ,  $3 \times 9$ の9の続きがあることを初めて知りました。」
- ・ペアやグループで話し合ったことが、子どもたちの理解につながりました。

### ○授業後の協議会

児童の学びの姿を、グループごとに交流し、本時の手立てが有効であったかを協議しました。

#### <有効だった点>

- ・ペア学習が有効的。ペアで話し合うことで自分の考えに自信がもつことができた。  
⇒発表につながった。
- ・「九九表の空いているところの数値を考える」という課題が分かりやすかった。

#### <改善点>

- ・個人思考で何を書いたらいいか迷い、手が止まっている子がいた。(九九表への書き込み、ワークシート)
- ・答えを求めた後、「どうやって求めたの?」ときまりを考えるようにする展開もあった。

### ○単元のゴール

#### 実行・振り返り

- ・2年1組オリジナルの九九かるたを作成し、遊びました。
- ・読み札には九九、取り札には図と答えを書き、どちらでも遊べるように工夫しました。

